

## 保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	ホームスカッター STD-205F		※お買い上げ日	保証期間
			年 月 日	1年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電 話	( )		
※販売店	住 所 店 名	☎ ( )		

(注) ※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障または損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
  - (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

お客様  
相談窓口

商品・修理品についてのお問い合わせは…

☎ 03-3252-8861

修理品の送り先…

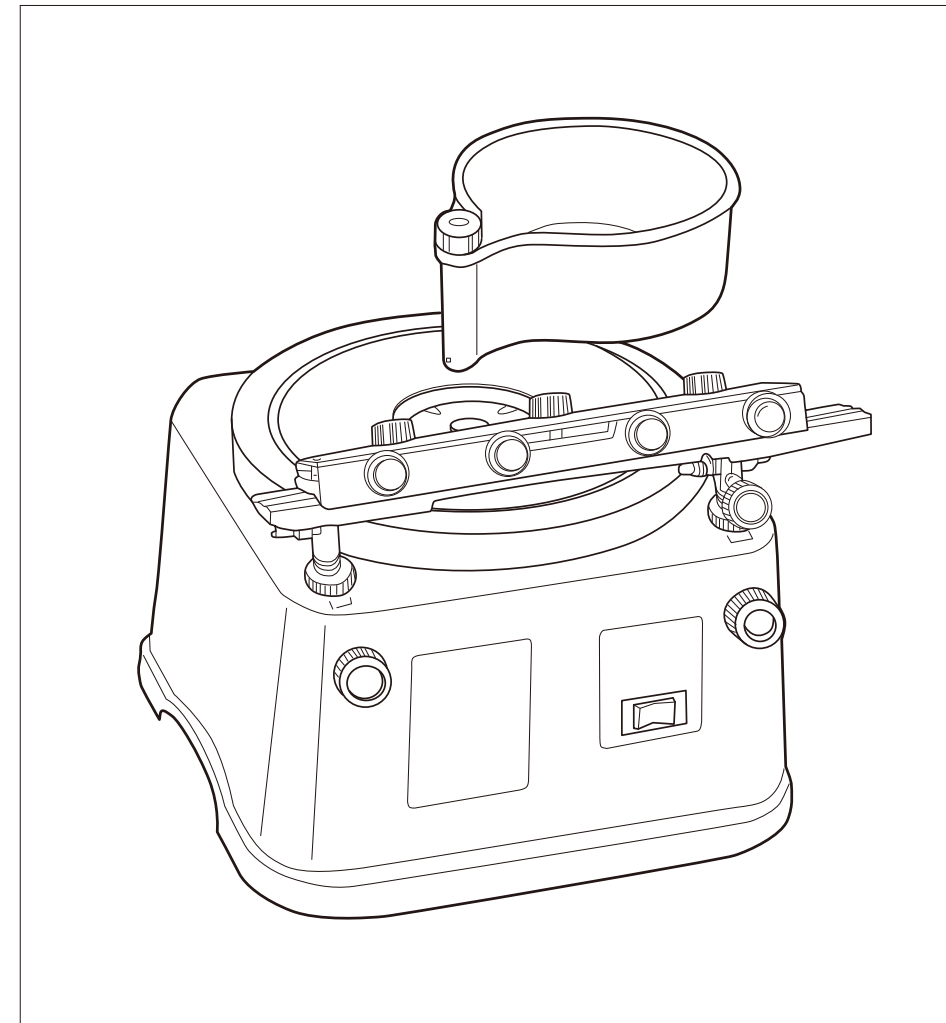
〒340-0002 埼玉県草加市青柳6-30-9  
株式会社 新興製作所 埼玉工場  
TEL:048-931-4151

修理(見積含む)及び別売品のご購入はお買い上げの販売店にご依頼ください。上記窓口では直接対応できません、あらかじめご了承ください。

**SHINKO** 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

# ホームスカッター STD-205F 取扱説明書



このたびはホームスカッターをお買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、必ず保存してください。

## 安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守って下さい。
  - ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
  - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

## △ 警告

### 1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

### 2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいるたり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

## △ 警告

### 3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

### 4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

## ⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
  - ・ 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
  - ・ コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
  - ・ 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
  - ・ 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
  - ・ 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
  - ・ 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

## 5. 手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
    - ・ 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
  - 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
    - ・ 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
  - 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
    - ・ 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
  - 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。
- ☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

## ホームスカッターご使用上のご注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、ホームスカッターについて、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
  - 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になりけがの原因になります。
- 使用に際しては、安全のため保護メガネの着用を心掛けてください。
- 砥石は純正品を使用してください。
  - 純正品以外の砥石を使用されますと過負荷からのモータ焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。
- 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
  - 異常があると、砥石が破損し、けがの原因になります。
- 使用中、機体の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店または、弊社に点検、修理を依頼してください。
  - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 誤って落としたり、ぶつけたときは、砥石や本機のボディなどに破損、亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
- 本機のスイッチが切れていることを確認してから、電源プラグを差し込んでください。
  - スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ぬれた手で電源に触らないでください。感電の原因になります。
- 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
  - けがの原因になります。
- 使用中、刃物の角度を起こしすぎたり、力を入れすぎたりしないでください。
  - 刃先が砥石に食い込んで大変危険です。

## ⚠ 注意

- 新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。  
砥石が破損したとき、けがの原因になります。
- 試運転を励行してください。
  - ・試運転時間は、砥石交換のとき 3分以上  
その日の作業始めのとき 1分以上です。
  - ・試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
- 工具類(砥石など)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。  
確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。
- 本機の定格時間は20分です。  
20分以上連続して使用すると、温度ヒューズが作動して自動的に回転が停止することがあります。  
このような時は一度スイッチを切り、電源プラグを抜いて15分位休ませてからご使用ください。
- 本機のスイッチは左回転、停止、右回転になっています。  
砥石の回転方向を変えるときは、一度スイッチを切り、回転が停止してから逆回転のスイッチを入れてください。

### 延長コードは…

一般工用具用の延長コードをご利用ください。また、巻きコード(コードリール)を利用される場合は、巻いたまま使うと熱を持ちますのでコードを全部引き出してご使用ください。

### 接地(アース)について

- 感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地(アース)してください。
- 接地は、電源プラグに付いているアース線をアース端子に接続してください。
- アース線に異常がないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアース端子と本体の金属部(外郭)間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので、最寄りの電気工事店にご相談ください。
- ご使用前に、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置(漏電しゃ断器)が設置されていることを確認してください。
- 爆発する恐れがありますので、アース線をガス管に接続しないでください。

## 仕様明細

形 式 名	STD-205F
電 圧	単相100V
周 波 数	50/60Hz
電 流	1.95/1.85A
消 費 電 力	175/160W
回 転 数 ( 正 ・ 逆 転 )	380min-1/440min <sup>-1</sup>
砥 石 寸 法	外径205×内径80×厚さ25mm
コ ー ド 長	1.85m
質 量	6.7kg
定 格 時 間	20分

※改良のため機能、形状等を変更することがあります。

## 延長コードのご使用について

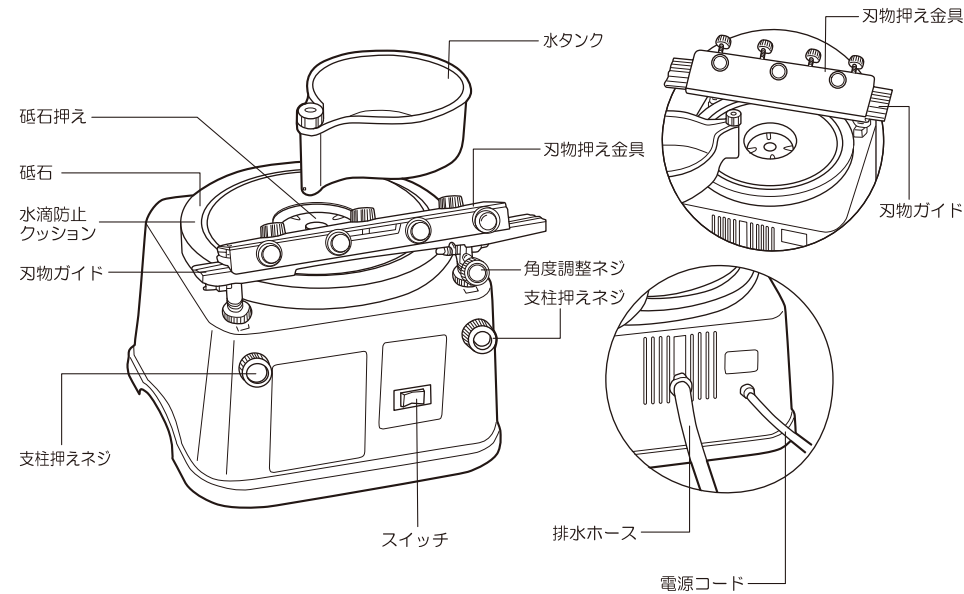
- 電源が離れていて延長コードを使用するときは、本機を最高の能率でご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くご使用ください。
- 使用するコードの太さ(公称導体断面積)と最大長さの関係

コードの太さ(導体公称断面積)	コードの最大長さ
1.25 mm <sup>2</sup>	10 m
2.0 mm <sup>2</sup>	20 m

## 用 途

- 刃物研磨
- 包丁(菜切、文化、牛刀、刺身、出刃、ペティ)
- カンナ、ノミ、彫刻刀、ハサミ、各種工場や作業場の小型刃物など

## 部品の名称



## 付属品の明細

精密刃物ガイド (刃物押え金具)	水タンク	スパナ
中砥石 (#1000)	排水ホース	六角棒レンチ

## ご使用前の準備

### ⚠ 警告

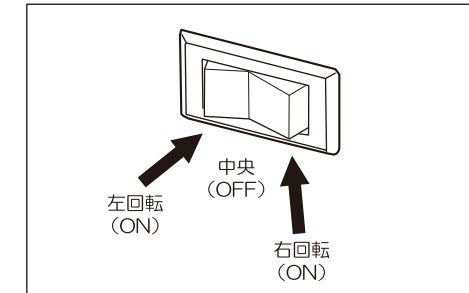
- 使用電源は銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ず電源スイッチが切れていることを確認してください。
- 水で濡れた手で電源プラグや電源コンセントに触れないでください。感電事故の原因となります。
- 本機にはアース端子が付いています。感電防止のため必ずアースを接続してください。

### ⚠ 注意

- 本機のスイッチは左回転、停止、右回転になっています。砥石の回転方向を変えるときは、一度スイッチを切り、回転が停止してから逆転のスイッチを入れてください。

#### ● スイッチについて

- スイッチは、左回転側を押すと電源が入り (ON)、砥石は左に回転します。右回転側を押すと、同じように電源が入り (ON)、砥石は右に回転します。中間の位置では、スイッチは切れた (OFF) 状態となり、砥石は停止します。
- ☞ 回転方向の選定については、13 ページの「刃物と回転方向」を参照してください。

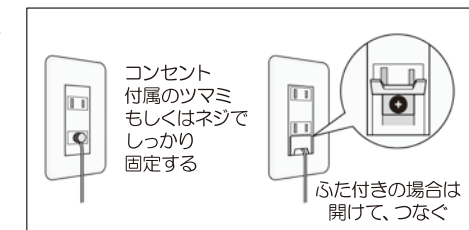


#### ● 電源の接続

- 電源コード先の電源プラグを手で持ち、確実に電源コンセントに接続してください。
- 電源コンセントから電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを手で持ち抜いてください。

#### ● アースの接続

- 感電事故防止のため、電源コードを接続する前に電源プラグに付いているアース線をコンセントのアース端子に接続してください。
- ☞ コンセントにアース端子が無い場合は電気工事店に連絡してコンセントの交換工事を行ってください。



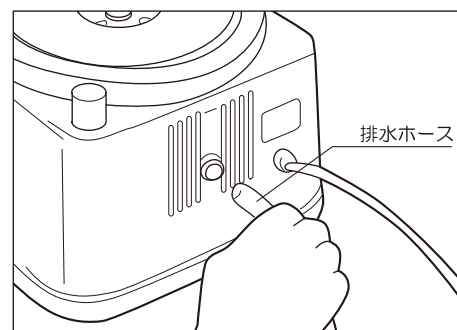


### ●排水ホースの取付け

- 電源コード取出し部の左側に、排水ホースの取付け口があります。付属の排水ホースを挿入し、取付けてください。

☑ご使用の際、ホース先端から研磨に使った水が排出されます。

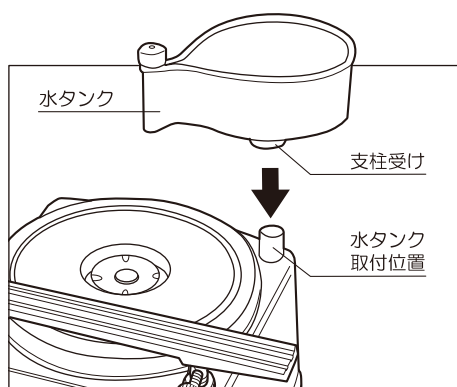
あらかじめ、受け皿などを用意してください。



### ●水タンクの取付け・調整

- 水タンクの取付け

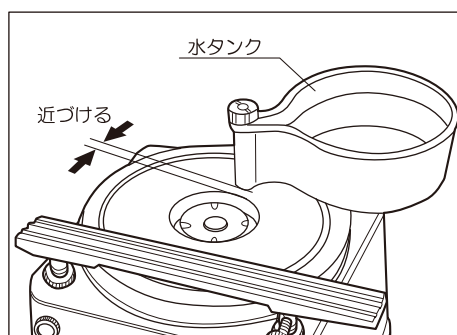
本体上面の水タンク取付け位置（支柱）に水タンク下の支柱受けを重ね、取付けてください。



- 水タンクの位置調整

水タンクの水の出口は、砥石の内側に向けてください。

水の出口が砥石の外側近くにあると、とぎ汁が遠心力で砥石の外側に流れ、砥石表面を全体に潤すことができません。



- 水タンクの水量調整

水タンクに8分目位の水をいれます。水タンクのcockを左右に回し、水タンクの下・先端の（cockの下）水の出口から水の出る量を調整してください。

つぎにスイッチを入れ、砥石を回転させて砥石の表面を十分濡らしてください。

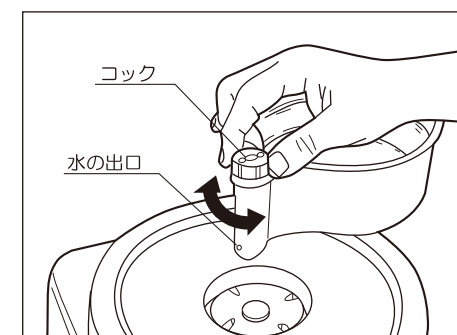
研磨時に水を出す量は、1秒間に1滴位の目安としてください。

☑砥石表面（研磨面）にとぎ汁が適量残るように出してください。水の量が少ないと砥石表面が乾き、逆に多いととぎ汁が流れてしまいます。

水の量には、十分注意してください。

☑使用中など、水タンクの水の出口からスムーズに水が出なくなったときは、水タンク内の水量が少なくなったか、出口の詰まりが考えられます。

細い棒などで詰まりを取り除いてください。

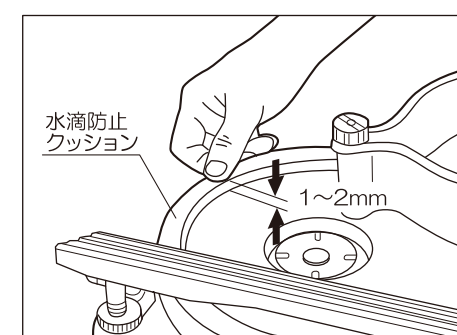


- 水滴防止クッションの調整

水滴防止クッションは、簡単に手で上下調整ができます。

水滴防止クッションを手で押すか、つまんで持ち上げ、砥石表面より1～2mm高い位置に合わせてください。

☑水滴防止クッションは、スポンジ製です。研磨中に刃物が触れても、刃先を傷つけることはありません。



### ●刃物ガイドの取付け、取外し

#### ●刃物ガイドの取付け

止め板の締付けネジ（六角穴付ボルト）を付属の六角棒レンチでゆるめて、あらかじめ止め板を横に向けてください。

（左右2ヶ所共）

刃物ガイドを本体に差し込み、刃物ガイド上下用ナットを止め板で押えてください。先に横に向けた止め板を、刃物ガイド上下用ナットを押える位置に戻し、締付けネジ

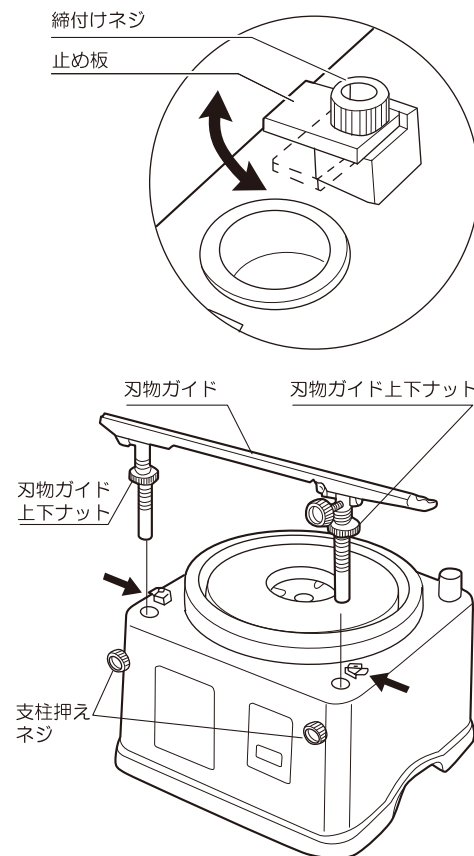
（六角穴付ボルト）を付属の六角棒レンチで締付けてセットします。

#### ●刃物ガイドの取外し

止め板の締付けネジ（六角穴付ボルト）を付属の六角棒レンチでゆるめて、止め板を横向きにしてください。

（左右2ヶ所共）

つぎに、支柱押えネジをゆるめて、刃物ガイドを抜きます。



### ●刃物ガイドの調整

#### ●高さ調整

支柱押えネジをゆるめ、刃物ガイド上下用ナットを左右同時に回し刃物ガイドを上下させます。

高さが決まりましたら支柱押えネジを締付け、固定します。

☞刃物ガイド上下用ナットが止め板で固定されて回らないときは、締付けネジ（六角穴付ネジ）をゆるめてください。

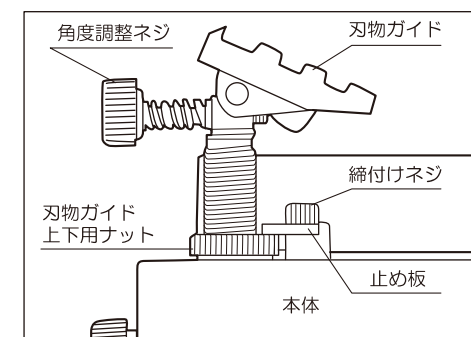
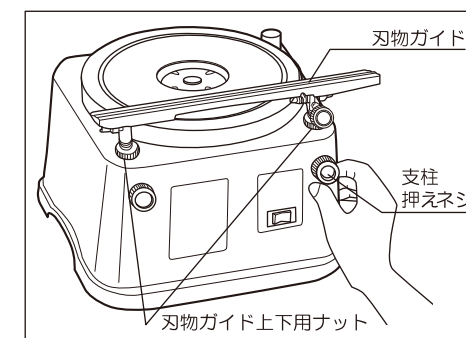
高さ調整後は、必ず締付けネジ（六角穴付ネジ）を締付けてください。

☞刃物ガイドと砥石の間隔は、1～3mmになるよう刃物に合わせて調整してください。

#### ●角度調整

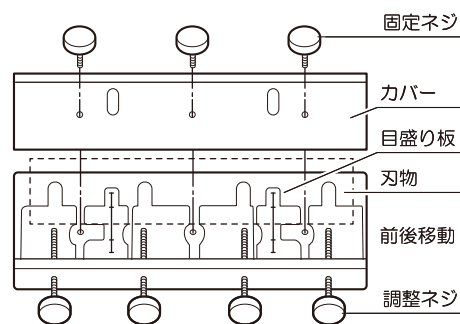
角度調整用ネジを左右に回し、適正角度にセットします。

右に回すとゆるく、左に回すと急な角度になります。



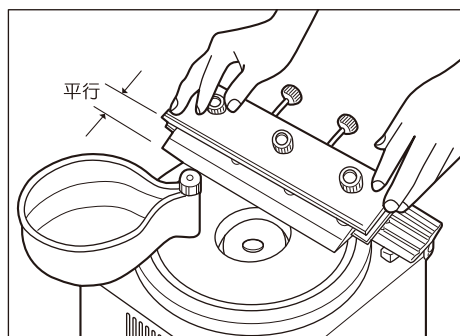
### ●刃物押え金具

電気カンナ刃など長い刃物の研磨は、付属品の刃物押え金具に刃をセットし、刃物ガイドにのせて角度調整すれば容易に精度の高い研磨ができます。

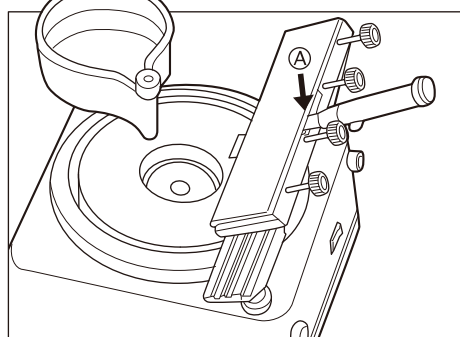


### ●セット方法

- 刃物を刃物押え金具の調整ネジで平行になる様に取付けてください。
- カバーを載せ、固定ネジで締付けてから刃物ガイドにセットし研磨します。



- ノミ等柄のあるものはAより差し込んでください。



### ■研磨方法

#### ⚠ 警告

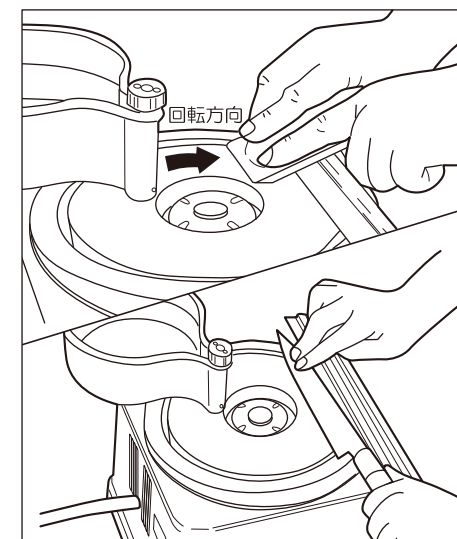
- 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると、砥石が破損し、けがの原因になります。
- 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- 使用中、刃物の角度を起こしすぎたり、力を入れすぎたりしないでください。刃先が砥石に食い込んで大変危険です。
- 研磨中は、刃先の前に指などを出さないでください。けがの原因となります。

#### ⚠ 注意

- 工具類(砥石など)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。
- 本機のスイッチは左回転、停止、右回転になっています。砥石の回転方向を変えるときは、一度スイッチを切り、回転が停止してから逆回転のスイッチを入れてください。
- 本機の定格時間は20分です。
- 定格時間以上の連続使用はしないでください。
- 再度使用する場合は、本体が冷えたのを確認してから使用してください。

### ●刃物と回転方向

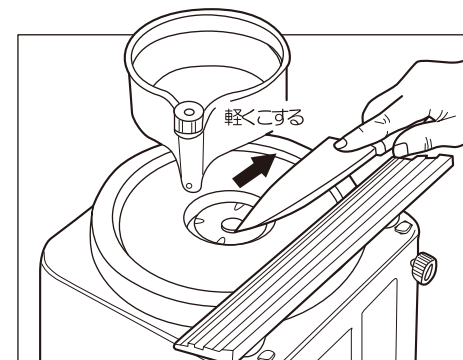
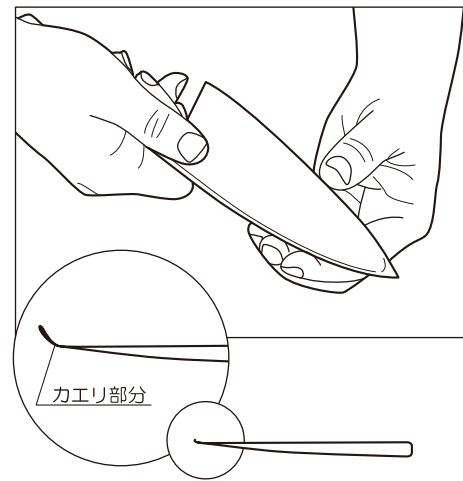
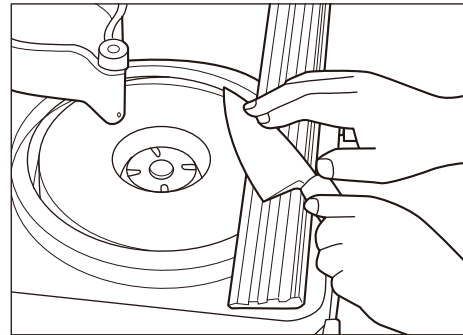
- 刃先に砥石が向かってくるように回転方向を選び研磨すると、カエリのないきれいな研磨ができます。
- なお、長い刃先の包丁などでは、正回転にこだわらず、研磨面全体を使った(逆回転部分も使った)研磨を行ってください。





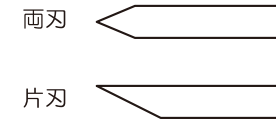
●研磨方法

- ①研磨する刃物を刃物ガイドに当てて、角度を調整してください。  
角度合わせが済んだら、いったん刃物を外してください。
- ②研磨する刃物の研ぎ面に合わせ、砥石の回転方向を決めてください。
- ③水タンクに水を入れてください。
- ④スイッチが中央の切り位置 (OFF) にあることを確認した後、電源プラグを電源コンセントに接続してください。
- ⑤水タンクのcockを回し、水を砥石に出し始めてください。  
続いて、刃物に合わせた回転方向にスイッチを入れ (ON)、砥石表面を濡らしながら、水の出る量を調整してください。
- ⑥砥石全体が濡れたら、刃物ガイドの上に研磨する刃物を乗せて研磨を始めてください。  
刃物を研ぐときは、片方の手で柄の部分などを握り、もう片方の手の指先で刃物の上面をかるく押さえ研磨してください。
- ⑦刃物全体が研磨できたら、刃物を外しスイッチを切り (OFF)、水を止めてください。
- ⑧研磨後、指先で刃先のカエリ具合を確認してください。  
このとき、刃先で指を切らないように注意してください。  
カエリがある時は、カエリがある面を回転を止めた砥石の研磨面で軽くこすってください。刃先を指先で確認しカエリを感じなければ研磨は終了です。
- Ⓣカエリがあるまま刃物を使用されると、刃欠けの原因になるばかりか、欠けた刃先が切ったものに食い込むなど大変危険です。



■刃物の種類

- 刃物には片刃と両刃があります。  
片刃を両側から同じように研ぐと切れ味が悪くなります。  
また、両刃を片側から研いでも切れ味は良くなりません。  
両側から均等に研いでください。



●包丁の刃先形状 (刃先の形状に合わせて刃研ぎをしてください)

種類	菜切包丁	牛刀	刺身包丁	出刃包丁
形状				
名称	両刃	両刃	片刃	片刃
刃研ぎの方法	●刃の角度に合わせて、両面同じように研いでください。		●刃先の角度のついている面を角度に合わせて研いでください。 ●裏面のカエリは砥石の回転を止め、刃物の裏面全体を砥石に当て、軽く引くようにこすってとります。	

## ■砥石の交換方法

### ⚠ 警告

- 砥石交換のときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると砥石が破損し、けがの原因になります。

- 刃物ガイドと水タンクを外した後、砥石の上から、砥石が回転しないように手で押え、砥石の回転を固定した後に、付属のスパナで砥石押えを右に回し、外してください。

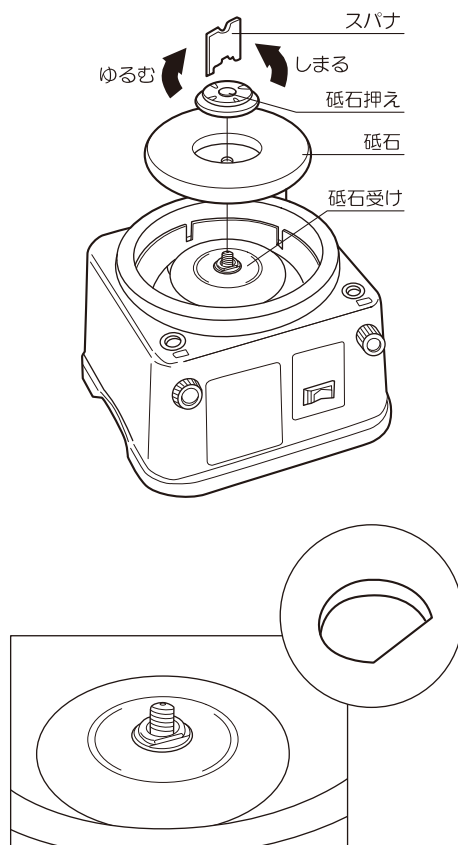
つぎに、砥石を上を持ち上げ取外してください。

- 砥石の取付けは、取外しの逆の手順で行ってください。

砥石受けの切り欠き部分に、砥石下の鉄板の中央穴の切り欠きを合わせ、確実に挿入してください。

正しく入ったことを確認した後に、シャフトのネジに砥石押えのネジを合わせ、砥石押えを左に回して締付け、砥石を固定してください。

- 取付後は、一度砥石を手で軽く回し、砥石の回転に振れが無いことを確認してください。



## 保守、点検について

### ⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換等のお手入れの前に電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

#### ●各部取付ネジの点検

- ネジなどゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締め直してください。

#### ●使用後の手入れ

- 油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。
- 長時間使用しますと、砥石の下部の水受け、排水口に研ぎかすがたまります。砥石を取外し、内部を清掃してください。
- 本機は防水構造ではありません。汚れを取り除くときは、乾いた布か洗剤をしみこませ、良くしぼった布で拭いてください。絶対に直接、水をかけて洗わないでください。揮発性の溶剤や、ガソリン、シンナーなど引火性のものでは洗ったり拭き取ったりしないでください。変形や火災などの原因になります。
- 砥石の表面は、平らを保ってください。長期間、砥石の同じ部分を使用すると、砥石表面が不規則（不均一）になります。時々、市販の砥石ドレッサーなどを使用して砥石表面を平らに保ってください。

#### ●作業後の保管

- 高温にならない、乾燥したところに保管してください。
- 小さいお子様の手が届かないところで、落下の心配のないところで保管してください。

## 別売品について

- 別売品については本製品ご購入の販売店にてご注文をお願いします。

品名	JANコード
205mm 荒砥石 #180	4954008555559
205mm 中砥石 #1000	4954008555566
205mm 仕上砥石 #6000	4954008555573